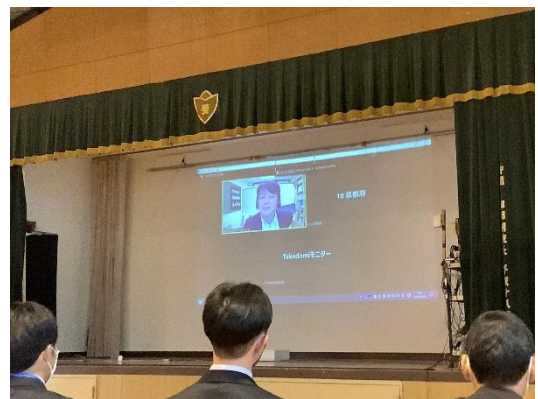


第2回 全校研究会

「多様な児童生徒に自分らしい社会貢献を実現する授業」 ～学習評価をととして多様な児童生徒の幸せに生きる力を育む～

今年度も外部専門家として神戸親和女子大学の武富先生に御協力いただき、全校で学習指導要領の「学び」と「実践」をリンクさせた取組を実施します。昨年度の学びを生かし、適切な目標や評価規準が設定された、多くの「問い」が詰まった授業を展開していきたいと思います。

5月9日に第2回全校研究会を行いました。「新学習指導要領を踏まえた『学習評価の工夫』について」と題して、武富先生にオンラインで御講演いただきました。



新学習指導要領改訂のポイントについて、6項目に分けて丁寧に説明をしていただきました。キーワードとなる「何ができるようになるか」「資質能力の三位一体」「主たる『問い』の設定と『問い』のマネジメント」「深い学びと『見方・考え方』との関係」等、それぞれのポイントに合わせて実践を含めた具体的なお話をいただき、多くの学びを得ることができました。

【第2回全校研究会の感想】



あらかじめ子どもの姿を想定することで、ねらいを具体的に見通すことができると感じました。

見方・考え方の視点が、深い学びにつながることを学びました。



学習評価では、学習したことの意義等が実感できるように、生徒へのフィードバックを大切にすることを学びました。